

知行合一

「行くに徑（こみち）に由（よ）らず。」【論語】は、「物事を行うときは、近道や裏道を考えず、正しい道（大通り）を正々堂々と進むことだ。」と説いています。

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

学校だより 第13号

令和3年2月5日

文責 校長 沖田 龍藏

「全国いじめ問題子供サミット」で日本全国の小・中学校児童・生徒と交流！



1月は、あっという間に過ぎ去ってしまった感がありますが、その中で、新体育委員長、富永君を中心に体育委員会の初企画で、28日の昼休みに、「寒さに負けないように」と新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、「長縄大会」がありました。3年生は公立高校前期選抜（2月1日）を控えていましたが、入試に向けて、気を張っていましたので、よい気分転換になったようで、グラウンドに歓声が上がっていました。

昨年度から「子どもたちによるいじめ防止推進事業」の

研究指定を受け、11月に本校で研究発表会を行った内容を中心に、1月23日（土）には、3年の猪木さん（前生徒会長）と元村会長が、文部科学省主催の「全国いじめ問題子供サミット」に熊本を代表してリモート参加しました。田浦小6年の吉野君と松永さんも交流の様子を見るために来校してくれました。その交流の中で、田浦中学校から「自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何か」について、以下の点を述べていました。「全員で活動できる組織づくりとして、田浦スマイルプロジェクトを意識して、すべての委員会で取り組むこと



で、生徒と先生が一丸となりいじめ防止に参加できること、また、保護者や地域の方に向けて活動を発信する点では、①生徒会新聞を配付したり、文化祭や人権集会（いじめに関する問題を取り上げた劇など）で発表したりする。②家庭内では「今日、学校どうだった？」などの話しやすい雰囲気をつくっていくこと等を力強く発言してくれました。次年度も生徒主体の生徒会活動を中心に、「いじめを許さない、いじめをなくす」ことを学校、家庭と連携して取り組み、安心して学ぶことのできる環境を維持し、さらに、生徒同士、生徒と先生の良い人間関係を築いていきたいと思っております。

2月2日には、田浦小6年生と保護者、担任の先生向けに「新入生説明会」を開催しましたが、その中で、新生徒会役員が小学校と中学校の学習の相違点や学校行事、部活動等をしっかりと伝えていました。最後に、連絡となりますが、12月に実施された熊本県学力調査・芦北町テストの結果を各ご家庭に配付してありますので、5教科の学習到達状況をご確認いただき、励ましの言葉をお子様にかけていただきますようお願いいたします。学校でも学年末テストに向けて、担任及び教科担任を中心に、学力調査を分析した結果をもとに課題克服の取組を行ってまいりますので、ご家庭でも、家庭学習の時間確保等をよろしくお願ひいたします。HPで情報発信中、『田浦中学校』で検索を！